

議会だより つるい

本会議場で模擬議会を開催。中学校ではその様子をオンライン授業。



23年ぶりの中学生模擬議会を開催

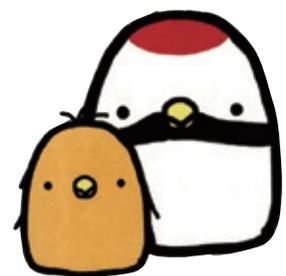
マイナンバーカードを作ろう！

TOPICS

6月定例会の中身は？ P2

4議員が村政を問う！一般質問 P5

中学生模擬議会！6人が一般質問 P12



鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

6月議会でどんなことを？

新総合体育館の条例を制定。利用料金がかかります。18歳以下と65歳以上の村民は免除（トレーニングルーム除く）

令和4年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	5427万5千円	45億4595万2千円	全員賛成により可決

10月オープン予定の新総合体育館の設置条例を制定しました。今回の条例により管内他自治体と同様に利用料金がかかるようになります。

また、この施設は指定管理者制度により、民間事業者が運営します。

▷利用料金（個人利用のみ掲載、この料金は条例で定めた上限料金です）

●個人利用（ランニングデッキ、メインアリーナ、サブアリーナ）

1回100円、回数券1000円（12枚）、6カ月券5000円、12カ月券9000円
冬季加算料金20円

●個人利用（ランニングデッキ、メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム）

1回300円、回数券3000円（12枚）、6カ月券15000円、12カ月券28000円
冬季加算料金60円

- ※免除規定・村内に居住する満18歳以下と65歳以上の村民（トレーニングルーム除く）
 - ・村内スポーツ少年団
 - ・村スポーツ協会に加盟する団体（貸切利用のみ）などの免除規定があります。

▽新総合体育館の条例制定

※固定資産評価審査委員会は、村長とは独立した中立的・専門的な立場から、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査および決定その他の事務を行う行政機関のことで



たけなか のりゆき
竹中 憲之 さん
64歳（再任）



のざわ ひろゆき
野澤 弘幸 さん
54歳（再任）

▽固定資産評価審査委員会の委員の選任

- ▽ 及川晃仁さん（釧路町）
- ▽ 山本節子さん（弟子屈町）
- ▽ 中尾義行さん（鶴居村）

※公平委員会とは、公務員の不利益処分に対する不服申し立てなどを審査する機関です。

▷工事請負契約の締結

役場にエレベーターを設置するなどの工事請負契約を締結しました。

役場庁舎機能改善建築主体工事

契約の方法：指名競争入札

契約の金額：7898万円

契約の相手：佐々木・山口経常建設企業体

▽釧路町村公平委員会の委員の選任

定例会のあらまし

第2回定例会は6月8日に開会し、9日に閉会しました。村長からの提出議案は21件で、内訳は報告2件、専決処分3件、条例案件1件、計画案件4件、人事案件5件、契約案件1件、補正予算1件、その他4件です。議員発議案は意見書3件で、すべての議案が原案通り可決されました。一般質問では、4議員が7項目の質問で村政を問いました。



松井広道議長

▽キラコタン岬に車両侵入防止柵 375万円



佐藤吉人議員
キラコタン岬に車両侵入防止柵とゲート、看板を設置するのは。

現在、単管で車両侵入柵とゲートを設置しているが、引き抜かれるなどの被害があるため、今回は基礎工事を行い擬木を使った柵とゲートを設置する。

▽新規就農支援事業 887万円



吉田保博議員
新規就農支援事業の詳細は。

産業振興課長
夫婦で放牧主体の乳用めん羊を飼育し、チーズやアイスクリーム、ヨーグルトなどの乳製品加工生産を行う計画となっており。当初6頭から始め、5年後には36頭に増やす計画。

▽デントコーン畑電牧設置支援 400万円



松井俊治議員
自給飼料の高騰対策として、デントコーン畑の電柵設置に補助金が支給されるが詳細は。

産業振興課長
飼料の高騰を受け緊急避難的に、電柵の既設・新設により、1ha当たり5000円から1万円（上限）を補助する。

▽新総合体育館の開館記念式典 197万円



及川満浩議員
10月10日に予定している記念式典の内容は。

社会教育課長
10月10日は関係者100人規模の記念式典を、16日には村内児童生徒向けに150人規模の記念事業を予定している。

▽マイナンバーでオンライン手続き 1321万円



松井洋和議員
どのような手続きがオンラインで可能に。

総務課長補佐
子育て関係15、介護関係11の手続きが可能となる。手続きにはマイナンバーカードを読み取るカードリーダーが必要。

6月議会
でどんな
ことを？

6月定例会 審議した議案と結果



一般質問

松井 洋和 議員 P6

- ①中学生模擬議会の今後

佐藤 吉人 議員 P7

- ①下幌呂通学路の歩道電柱の移設を
- ②計画されている簡易軌道公園は

松井 俊治 議員 P8

- ①旧幌呂保育園の今後は

及川 満浩 議員 P9

- ①物価上昇のなか今後の公共料金は
- ②給食の原材料価格上昇の影響は
- ③学校トイレ内への生理用品の配置は

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

村長・教育長へ聞きたいこと 4人の議員が7項目の質問

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
報告											
鶴居村振興公社経営状況報告書の提出	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度決算と令和4年度の事業計画の報告	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年度をまたぐ道草草地整備事業負担金などを令和4年度に繰越可報告	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分											
税条例等の一部改正											
令和4年度税制改正に係る条例の一部改正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正											
地方税法施行令の一部改正により関係する条例を改正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度一般会計補正予算（第11号）											
令和3年度の歳入歳出が確定したことによる1億2045万円の増額補正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定											
村民スポーツ・健康増進施設条例の制定											
10月にオープン予定の新総合体育館の設置条例	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計画の策定											
辺地総合整備計画の策定（中幌呂地区）											
6号支線道路橋改修事業に、辺地債を借入するための計画	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の策定（支幌呂地区）											
耐震性貯水槽整備事業に、辺地債を借入するための計画	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の策定（上幌呂地区）											
水槽付き消防ポンプ自動車購入事業に、辺地債を借入するための計画	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の変更（下久著呂地区）											
村道中雪裡下久著呂線・峯崎橋・菅農用水配水管事業に、辺地債を借入するための計画	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度補正予算											
一般会計（第2号）											
行政手続きオンライン化事業など総額5427万円の増額補正計上	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件											
固定資産評価審査委員会委員の選任（野澤弘幸さん）	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任（竹中憲之さん）	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
釧路町村公平委員会委員の選任（釧路町・及川晃仁さん）	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
釧路町村公平委員会委員の選任（弟子屈町・山本節子さん）	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
釧路町村公平委員会委員の選任（鶴居村・中尾義行さん）	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約の締結											
工事請負契約の締結（役場庁舎機能改善建築主体工事）	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指名競争入札による7898万円の契約を締結	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他											
釧路公立大学事務組合の共同処理する事務及び規約の変更に関する協議	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度から地方独立法人法に基づき公立大学法人へ移行するために必要な規約の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道市町村総合事務組合規約の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
参加する事務組合の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道市町村職員退職手当組合規約の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
参加する事務組合の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
参加する事務組合の変更	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書の提出（議員発議）											
森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豪雪地帯における介護事業所への適切な評価を求める意見書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

中学生模擬議会の今後

実際に政治を体験する場は重要。

教育長 学校と連携・協力して対応



まついひろかず 議員 松井洋和

松井

6月1日に、この議場で中学生模擬議会が開催されました。限られた時間でしたが、中学生としての目線から村への提言がなされました。

今、地方議会では議員の成り手不足が問題となっていてます。今回のように中学生のうちに実際に議会を体験することは、議会としても授業としても、とても有意義なものだと感じています。

そこで、私としては議会として今後も中学生模擬議会を継続、発展していければと思っていますが、教育長の考えを伺います。



中学生模擬議会が開催された

教育長 鶴居村議会の主催で6月1日に開催され、7人の中学生が模擬議員として参加し、それぞれが考える村政や教育行政の課題について、自らの言葉で質問するとともに、答弁に対し、自らの今後の行動に結びつけた感想を述べるなど、参加した中学生は、模擬議員として立派に役割を果たしてくれました。また、その様子をオンラインで傍聴した生徒たちにとっても、有意義なものになったと考えています。

このように、鶴居村の未来を担う中学生が、模擬議会という体験を通して、地方自治

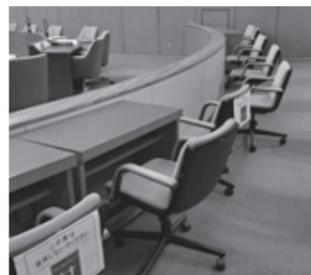
について理解と関心を高めることができたことは、主催者教育やふるさと学習の観点からも、たいへん意義深いものです。

私としては、鶴居村議会が、中学生模擬議会の取り組みを今後も継続するのであれば、その意義を踏まえ、学校と連携・協力して対応したいと考えています。中学生模擬議会を継続して開催する場合には、議会の役割や地方自治の仕組み、予算、施策の効果など、より広く地方自治について考える機会になるよう、学校や生徒の負担にも考慮した開催の在り方や時期の調整を含め、内容の充実を図っていきたいとの思いを持っています。

村議会にも、模擬議会の開催に合わせて、議会の役割や議員の仕事などについて生徒に直接教える機会を設けるなど、生徒の議会への理解と関心が一層高まるよう、協力をお願いします。

議会だよりは要約されています。
臨場感ある本会議場へお越しください。

議会の傍聴お待ちしております。
次回定例会は9月6日(火)10時～役場2階(予定)



下幌呂通学路の歩道電柱の移設を

通学路である歩道を除雪するとき電柱があるので時間がかかる。

村長 北電ネットワークと協議を継続

佐藤

本件については、以前にも議案審議で質疑しましたが、現時点で電柱の移設がされていません。

やはり気になっているのは、冬期間の除雪の問題です。ソーラー側の歩道幅が14mしかなく、近年の湿り雪は大変重たくて、歩道部の電柱により機械除雪でも時間がかかります。

村長

村道下幌呂東7号線の歩道に敷設された電柱は、北海道電力ネッ



下幌呂小学校通学路の歩道

トワーク側からの要請により、村が管理する村道歩道部に敷設したものであり、現地の制約ある土地条件などを考慮し、道路管理に最小限の影響にとどまるよう対応したものです。

現状、敷設された電柱については、今日まで当時の状況で経過しており、天候などの状況変化によっては、歩道を通行するうえで安全確保に多少の負担がかかることも想定されますが、冬期間における歩道の通行確保には、降雪の状況などを考慮しながら除雪作業にあたっています。

計画されている 簡易軌道公園は

村としては、今日まで通行に特段の支障や影響は生じていないと考えていますが、今後、歩道の改修工事も計画しているため、北海道電力ネットワークとの協議を継続させながら、安全の確保に努めたいと考えています。

佐藤

北海道遺産第65号簡易軌道公園についての構想は過疎計画にも登載されていますが、その時の問題として公園完成後にかかるランニングコストの問題があるかと思っています。

- ① 地域へのリターン(R:有形無形の地域貢献)
- ② 情報発信(…今やこれが

教育長

- ③ 安全(S:機械があるので、すべてに優先して安全の確保)
 - ④ 学ぶ(E:物を買うから、学ぶ、体験するコト消費時代の变化)
 - ⑤ 持続可能性(S:活用しながら維持費を捻出させるか)
- 公園完成後の維持費について現段階でどのように考えているか伺います。

維持管理費は施設の規模や管理運営方法などにより大きく異なることから、現段階では具体的に説明できる状況はありませんが、いずれにしても、施設建設費や維持管理費、施設のもたらす効果、財源などを慎重に見極めながら検討を重ね、北海道遺産である旧村営軌道の保存・活用を図っていきたく考えています。

さとうよしひと 議員 佐藤吉人

旧幌呂保育園の今後は

今後の旧幌呂保育園の敷地を含めた施設全体の利用は。



まつい しゅんじ 議員 松井俊治

村長 地域の意向を伺いながら検討したい

松井

子どもセンター「こすもす」が令和2年に完成し、村内の保育園は統合されました。

新しい施設で園児たちは友達も増え、毎日楽しく学んでいると聞いています。

一方で幌呂保育園は耐震性の問題から建物としての利用は難しい状況にあると伺っています。

今後の幌呂保育園の敷地を含めた施設全体の利用についての考えを伺っています。

村長

旧幌呂保育園は、園児数の減少や園舎の老朽化などにより、令和



旧幌呂保育園

2年4月に鶴居保育園に統合しました。
現在は、幌呂地域から2名、下幌呂地域から8名の園児たちが送迎バスを利用するなどして、元気に子どもセンター内の保育園へ通園しています。

質問にある旧幌呂保育園の建物は、昭和54年の建築から経年による老朽化が進んでおり、施設の安全性の面などから人が常時利用することが難しく、現在、旧郷土資料館に当時から展示された収蔵物や村で管理する一般書類などの

一時的な保管場所として利用しています。
このことから、当面の間は地域の理解をいただきながら、物品などの収容場所として有効利用していきたいと考えています。

また、旧幌呂保育園の敷地と隣接するテニスコートや周辺の公園を含めた1帯の村有地については、昨年、公園内に新たな木製の複合遊具を設置したほか、敷地内の危険性の高い立木を伐採や枝払いを行うとともに、年6回程度の草刈を実施するなどして、施設周辺の管理に努めています。

現段階では旧幌呂保育園の敷地を含めた村有地について、特段の活用方法は持ち合わせていませんが、幌呂市街地中心部に存在する村有地であるため、幌呂地域の考えや意向などを伺いながら、将来の土地利用や施設用地の在り方などを検討したいと考えています。

表紙の写真



6月7日に役場本会議場で開催された、中学生模擬議会後に記念撮影をした写真です。

物価上昇のなか今後の公共料金は

ロシアのウクライナ侵攻などで物価が上昇し、生活不安が広がっている。



おいかわ ひろき 議員 及川満浩

村長 適時、総合的な判断で対応する

及川

現在、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーや食料原材料の供給不安などの理由により各種の原材料の価格が上昇し、商品やサービスの価格転嫁により物価上昇が続く、賃金の引き上げが不十分な状況のなかで、国民生活への不安が懸念されています。

このような状況のなか、今後の公共料金などの設定の方向性について伺います。

①上下水道料金および付帯する料金について。
②各種手数料や料金について。
③医療保険料（国民健康保険税）について。

村長

適時、総合的な判断を持ち合わせなければならないと考えています。

使用料や手数料、国民健康保険税などの村民負担の在り方は、それぞれ事業内容で異なり、常に適正に考慮されなければならぬと考えています。

給食の原材料価格上昇の影響は

及川 鶴居村では給食費の無料化が制度化されています。

現在の物価上昇も住民負担の面では影響がありませんが、児童生徒の栄養供給や事業の安定化においては非常に厳しい面があると思います。

そこで、給食費の価格設定および配送などの経費負担について村の考えを伺います。



村の給食費無償化で保護者への影響はないが...

教育長

教育委員会としましては、原材料費などをはじめとした物価上昇のなかにあっても、さまざまな工夫を凝らしながら経費の増加を少しでも抑えつつ、学校給食の基準や意義を損なうことのないよう、学校の栄養教諭と連携を図りながら、一食当たりの単価設定を適切に調整し、必要な予算の確保に努めたいと考えています。

学校トイレ内への生理用品の配置は

及川 昨年度、東京都の都立学校では生理用品のトイレ内への配置が開始され、全国に広がっています。

そこで、本村の現状と実施に向けての考えを伺います。

教育長 「生理の貧困」への学校の対応

ですが、学校のトイレ内への生理用品の配置は、児童生徒にとって受け取りやすいという利点はあるが、学校が児童生徒のそうした実態を把握しづらい方法でもあるため、むしろ、保健室で生理用品を提供することで、児童生徒が抱える不安や悩みを養護教諭などに相談できる機会になると考えており、当面は、保健室への来室や相談がしやすい環境づくりに努め、適切に対応したい。

鶴居中学校大規模改修に向け 中札内村と黒松内町に行政視察へ

視察研修
でどんな
ことを？

◎中札内中学校

築年数：旧校舎は昭和45年建設（当時築43年）
工事費：約5億5000万円
実施設計：平成25年度
工期：平成26年6月～平成27年10月



▽中札内中学校

5月25～27日にかけて行政視察を行いました。
今回の目的は、鶴居中学校の大規模改修に向けた基本設計と実施設計が今年度に予定されており、その前に議会として学校の大規模改修を実施した事例を実際に視察し、見習う点や課題などを探り、より良い学校づくりを目指すことにあります。
最近、大規模改修工事を行った中札内中学校と、黒松内小学校を視察しました。
両校ともに、鶴居小学校を設計した業者が担当しており、木のぬくもりを感じる明るい校舎となっていました。課題は色々ありますが、大切なものとして今後、授業のデジタル化や細分化が進むなどの影響により、職員室スペースを広くする工夫が必要となりそうです。
また、再生可能エネルギーをどのように取り入れるかも重要になってくると感じました。



天井のレールにより壁が移動し、教室の広さを変えることができます。



校舎内は木材がたくさん使われており、ぬくもりを感じます。

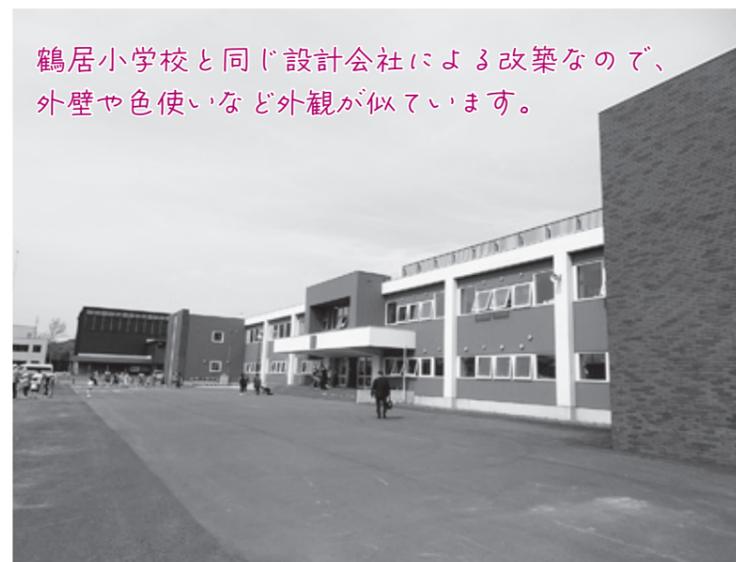
◎黒松内小学校

築年数：旧校舎は昭和56年建設（当時築31年）
工事費：約6億9000万円
実施設計：平成24年度
工期：平成24年8月～平成25年2月

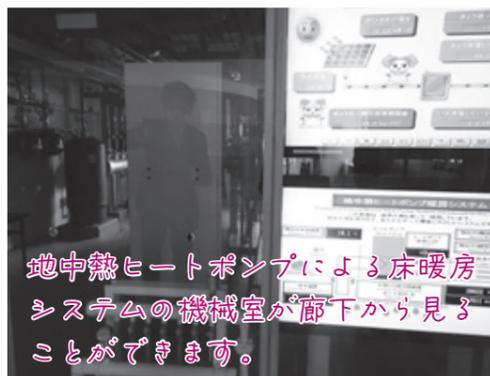


体育館の南側壁面に設置された太陽光パネル。

▽黒松内小学校



鶴居小学校と同じ設計会社による改築なので、外壁や色使いなど外観が似ています。



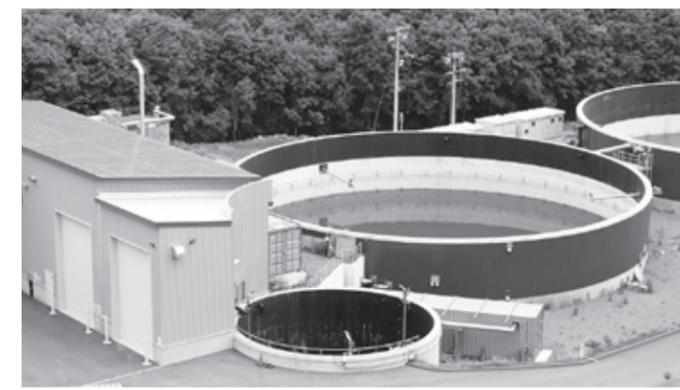
地中熱ヒートポンプによる床暖房システムの機械室が廊下から見ることができます。

改定内容

- ▶ 議会議員（9人） 期末手当引下げ 年間4.45月分を年間4.30月分に改定
- ▶ 村職員（66人） 期末手当引下げ 年間4.45月分を年間4.30月分に改定
- ▶ 特別職（3人） 期末手当引下げ 年間4.45月分を年間4.30月分に改定
(村長・副村長・教育長)

▽人事院勧告により期末手当を減額

5月9日に臨時会を開会し、議案1件の議案審議を行い、すべての議案が原案通り可決されました。
村長提出議案7件、議員発議された。



2024年の稼働に向けて動き出したバイオガスプラント

第1回臨時会

▽バイオガス 関連経費 3461万円

無償譲渡を受けた下雪裡のバイオガスプラントにかかる、稼働に向けて必要な経費と当面の維持経費の計上です。
財源として酪農振興基金を使います。

視察研修

臨時会

2022年6月1日



吉田 春道 議員 (幌呂中学校2年)	P13
① 鶴居の牛乳を使った取り組みは	
飯田 晴子 議員 (鶴居中学校2年)	P14
① 冬の除雪強化を	
角田 麗心 議員 (鶴居中学校2年)	P15
① 酪農を学ぶ機会を	
鈴木 佐和 議員 (鶴居中学校3年)	P16
① ソーラーパネル設置に規制を	
武藤 里沙子 議員 (幌呂中学校3年)	P17
① 村民プールの新設は	
鳴川 紀香 議員 (鶴居中学校3年)	P18
① コロナ禍でのイベントは	

村長・教育長へ聞きたいこと 6人の議員が6項目の質問

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

鶴居の牛乳を使った取り組みは 村長 輝のしずくプロジェクトで消費促進



幌呂中学校2年
よしだ はるみち
吉田春道 議員

吉田

酪農についての質問です。
以前、新型コロナウイルスの影響などで牛乳の消費が落ち込み、牛乳の生産調整が入るかもしれない、というようなニュースを見ました。
まだ新型コロナウイルスが収まっておらず、今後も同じような事態がおこるかもしれません。
鶴居の牛乳を使って、ヨーグルトやチーズなどの加工品を増やすなど、現在何か取り組みを進めているのか、今後取組を進めていく予定があるのか、お聞かせください。

村長

新型コロナウイルス感染症の影響から、飲食業の低迷や、冬休み、春休みの学校給食の休止による消費の低迷などにより、昨年暮れから幾度となく生乳の余剰が懸念される事態となりました。
このため、全国各地の農業団体や自治体などが、懸命に牛乳消費の喚起に向けた取り組みを推進し、生乳廃棄の事態を回避してきました。
鶴居村でも、昨年暮れから全村民を対象に「牛乳・乳製品」の購入券を配布し、積極的に活用していただきました。



演壇で質問する2番吉田春道君

村長

しかし、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化による不安定な国際情勢などから、原油価格や物価が高騰し回復基調にあった牛乳の消費が陰りを見せ、厳しい酪農情勢となり再び生乳の廃棄が懸念される事態となっています。
吉田議員の質問にあるとおり、この状況を克服する取り組みを一層進めていくことが必要であり、村も議会や釧路丹頂農協などと連携協力して、「輝のしずく(滴)プロジェクト」を立ち上げ、あらためて村民をはじめ多くの消費者

吉田

今年からロシア・ウクライナ問題により私たちの身近な生活にも影響があると聞いて驚きました。
私の家は酪農を営んでいるので、今後も酪農に関する取り組みに興味を持って情報収集していきたいと思えます。

吉田議員も危惧されているとおり、私も新型コロナウイルス感染症の現状に加え、不安定な国際情勢による経済的な影響は、当面続くものと懸念しています。
具体的には、鶴居村のホームページなどで、牛乳消費の拡大を呼びかけるPR動画を配信するほか、全村民に対する「鶴居村応援券」の配布に合わせ、産地限定の牛乳を指定する「牛乳券」を配布しています。
に牛乳消費拡大を促進し、酪農への理解を深めてもらうことにしました。



鶴居中学校2年
飯田晴子 議員



演壇で質問する5番飯田晴子君

冬の除雪強化を

村長 安心安全な道路環境維持に努める

飯田 冬は路面が除雪の跡でガタガタだったり、凍ったりして小さな子どもや高齢者には特に危険だと思います。除雪の強化をしてもらえませんか。

村長

鶴居村内の除雪を管理する村道は、村が管理する村道で148km、北海道が管理する道道で88km、国が管理する国道274号線の道路で20km、全体でおよそ256kmとなっています。道路以外にも小中学校や公営住宅などの駐車場、緊急ヘリポート、各公共施設の敷地内などの除雪も実施してい

ます。

村の除雪作業の出動基準は、降雪量が約10センチメートル以上とし、また、地吹雪や吹き溜まりなどによって交通に障害があると判断される場合は、午前5時から出動しています。

村が実施する村道1回の除雪にかかる作業時間や費用は、雪質やその時の降雪量によって変動しますが、平均すると7時間の作業時間で300万円程度の費用がかかります。

そこで、飯田議員からの質問にある除雪の強化についてですが、村道を管理する村の除雪体制は、民間の業者委託も含め除雪車18台で除雪して

いますが、近年は運転手や専門技術者が不足しており、除雪体制を強化していくうえで大きな課題となっています。しかし、除雪は冬期間の住民の暮らしや経済活動に欠かすことのできないものであり、安心安全な道路環境を確保していくためにも、今後も除雪業者や村民皆さんの協力を得ながらこの除雪体制の維持を図っていきたくと考えて

います。

飯田

今の答弁から、除雪はこんなにも大変なんだと実感しました。私も時間があれば地域の除雪に協力したいと思っています。

角田 鶴居村は酪農の村ですが、生徒と酪農のふれあいは少ないように感じます。授業などで酪農について学ぶ機会を増やしていくのはどうでしょうか。

教育長

酪農を学ぶ機会充実についての質問ですが、小学校、中学校の9年間に学校の授業などで何を学ぶかを国が定めた「学習指導要領」では、例えば、小学校3年生の社会の授業で、身近な地域でみられる仕事について学んだり、中学校社会の地理的分野で地域



演壇で質問する6号角田麗心君

の産業について考える学習を行うこととされているほか、小学校の授業で使う社会科郷土読本「つるい」では、鶴居村の酪農について、仕事の具体的な様子や酪農家の方のお話を載せるなどして、理解を深めることができるよう工夫しています。

角田

今の答弁から、酪農があることがわかりました。酪農は、鶴居村になくてはならないものだと思いますので、これからも学ぶ機会や体験学習などの働きかけをお願いします。



鶴居中学校2年
角田麗心 議員

また、中学校の総合的な学習の時間では、キャリア教育の一環として、身近な職業調べや酪農体験も含めた職場体験学習などを行っているところですが、酪農について、知識としては、学校教育の様々

な場面で学ぶ機会があります。角田議員からの指摘のとおり、鶴居村の児童生徒が酪農とふれあう機会は限られているのが現状です。教育委員会としては、鶴居村の基幹産業である酪農について子どもたちが学びを深めることは、第5次鶴居村総合計画「つるい未来創造プラン」に掲げる「ふるさとに愛着をもち人間性豊かな『鶴居びと』を育成する」村づくりを進める上で、大変重要なことと考えており、本日、角田議員からの意見を参考に、酪農家の皆様の御理解と御協力をいた

村民プールの新設は

教育長 当面保留、必要に応じて検討



幌呂中学校3年 武藤里沙子 議員

教育長 鶴居村では、昭和47年に「村民プール」を建設し、平成30年に新総合体育館の建設決定

武藤 プールについての質問です。私たちは、小学校の授業や夏休みなどに鶴居村の村民プールを利用していました。ですが、現在は利用できず、阿寒のプールまで行くしかなく、授業はもちろん、普段、プールを利用することが難しい状況です。今後、鶴居村でプールを利用することは難しいのでしょうか、お考えをお聞かせください。

鶴居村では、平成29年に、当時、村民プールやファミリースポーツセンター、保育園などがあった鶴居西地区における今後の整備方針として「鶴居西公共エリア施設整備基本計画」を策定しています。この計画を策定する際に、水泳プールについても、新設することを含めて検討を重ねま

に合わせ、解体しました。このプールは、コンクリート枠ナイロン張りの25メートルプールで、毎年7月上旬から9月中旬まで開業し、小学校の体育授業や夏休み中の子どもたちを中心に利用していました。



演壇で質問する1番武藤梨沙子君

また教育委員会では、昨年度、学校施設や社会教育・スポーツ施設などについての今後の在り方などの検討を行い、その中で、水泳プールの新設についても検討を行いました。他の自治体の状況をみると、年間を通して利用できる温水プールの場合、建設費が10億円以上、維持管理費も人件費を含めて年間1000万円以上と多額の経費を要しており、鶴居村にお

したが、建設費や維持管理費など、いわゆる費用対効果の面で課題が大きいことから、計画への登載を見送ってきたところ。また教育委員会では、昨年度、学校施設や社会教育・スポーツ施設などについての今後の在り方などの検討を行い、その中で、水泳プールの新設についても検討を行いました。他の自治体の状況をみると、年間を通して利用できる温水プールの場合、建設費が10億円以上、維持管理費も人件費を含めて年間1000万円以上と多額の経費を要しており、鶴居村にお

武藤 水泳プールの新設は、費用の面から難しいことがわかりました。ですが、私も含めて村民プールをまた利用したいという要望が少なからずあると思うので、前向きにご検討していただけると嬉しいです。また、鶴居村民として新総合体育館を積極的に利用していきたいと思えます。

教育委員会としては、現時点では、水泳プールの建設は難しいと考えていますが、水泳は健康増進の1つとして子どもから高齢者まで様々な目的で親しむことができるスポーツであることや、武藤議員からいただいた意見も参考に、今後も、水泳プールに関する住民などのニーズを見極めながら、必要に応じて検討していきたいと考えています。

ソーラーパネル設置に規制を

村長 条例設置、地域環境との共生を推進する



鶴居中学校3年 鈴木佐和 議員

鈴木 太陽光発電のソーラーパネルの設置によって、森林破壊が起きています。冬季は、ソーラーパネルに雪が積もり、発電が上手くできなと思います。解決策はありますか。

村長 現在、鶴居村の各地にソーラーパネルが設置をされています。ソーラーパネルの多くは、発電した電気を売る「売電事業」として行っているものですが、森林を伐採して設置しているものや、釧路湿原の近くに設置しているものなど、その設置方法は様々です。

一方、村では、ソーラーパネルが無秩序に乱立しないよう「鶴居村美しい景観等と太陽光発電事業との共生に関する条例」を制定し、今年1月から施行しました。この条例では、鶴居村の豊

太陽光による発電は、二酸化炭素などの地球温暖化ガスを排出せず、無限ともいえる太陽の光を使って発電するため、極めて環境にやさしい再生可能なエネルギーとなるものです。鶴居村では、家庭用のソーラーパネルを住宅に設置する際に補助金を出し、村民の再生可能エネルギー利用を積極的に支援しています。



演壇で質問する3番鈴木佐和君

次に、ソーラーパネルに積もる雪の問題ですが、道東地域は、降雪量が少なく日照時間も長い太陽光発電に適している地域と言われています。冬期間であってもソーラーパネルに積もった雪は、融雪、または落雪する仕組みになっており、他の豪雪地帯と比較すると発電の効率は高

かな自然環境や美しい景色を将来に残すため、「売電事業」を進めようとする事業者が、ソーラーパネルを設置しようとするとき、地域住民の皆さんの理解が得られるよう努力しなければならぬことを定めています。

鈴木 今回の答弁からパネルに積もった雪は融雪、落雪する仕組みになっていて、さらに再生可能なエネルギーであることがわかりました。ゼロカーボンシティ実現に向け、中学生の私たちもできることを考え活動していきたいです。

今回の答弁からパネルに積もった雪は融雪、落雪する仕組みになっていて、さらに再生可能なエネルギーであることがわかりました。ゼロカーボンシティ実現に向け、中学生の私たちもできることを考え活動していきたいです。

いものと考えます。今回の鈴木議員からの質問は、世界の国々でカーボンニュートラルの取り組みが推進されるなか、自然豊かな環境を享受する鶴居村にとって重要な政策テーマです。村としても、今年3月、地球温暖化をもたらす二酸化炭素の排出を2050年までに実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」への参加を宣言したので、再生可能エネルギーの推進と地域環境との共生が図られるよう、各種の取り組みを進めていきたいと考えています。

中学生模擬議会後の感想

1番 武藤里沙子議員
 実際にその場に行き、質問をすることで緊張感が味わえた。村長さんや教育長さんはもちろん、議員の皆さんなど、たくさんの方々が鶴居村の未来のために、真剣に討議してくださっているからこそ、今の鶴居村があるということを実感した。

また、他校の生徒が出している質問は、それぞれ着眼点が違う、とても勉強になった。「議会だより」などを読んで、鶴居村についてより深く考えていきたいと思う。

議長 大沼乃々葉議員
 前から村側も考えていて、市民のため、村のために働いてくださっている姿勢を感じる事ができた。

議会を実際に体験して、私たちが快適に過ごすことができていくのは、この場で真剣に話し合ってくれているからなのだと思えた。

3番 鈴木和議員
 広報に載っている「議会」というものがどういう仕組みで成り立っているのか分かっていなかったけど、実際に参加してみても、議会の雰囲気を感じることができた。

細かいデータを元に答弁してくださってありがたかった。自分たちができることを改めて考えさせられた。

2番 吉田春道議員
 自分が質問したことに対して、村長さんがとても詳しく、細かなところまで教えてくださって、鶴居村の略農の今後のあり方が分かって、さらに興味を持てた。

他の人の質問を聞いて、自分も知っていたつもりでも知らなかったことがたくさんあった。

4番 鳴川紀香議員
 模擬議会を通して、鶴居村の今の課題と、解決に向けた対策を知ることができた。鶴居村の未来に向けて自分ができることを考え、努力したいと思う。

実際に議会に参加し、とても緊張はしたが鶴居村の政治に関わり、今まではまだ違った考えを知り、それをこれからの生活にかかせたいと思う。

今、私が生活できていることを当たり前だとは思わず、村長さんをはじめとする皆さんの方々に感謝し、これからの学校生活を送りたいと思う。

6番 角田麗心議員
 初めての経験でとても緊張していた。失礼のないようにと考えると自然に言葉遣いをいつもより気にしていた。今回の模擬議会では、議会のしくみや鶴居村に対しての新しい考え方、そして村長さん達の仕事内容など、普段の授業では経験できないことを務めさせていたでいて、とても感謝している。

鶴居村について考え直すとても貴重な場だった。

5番 飯田晴子議員
 私たちが「こうすればいい」と簡単に言っていたことが、多額のお金がかかったり、人々の苦労が多かったり、人々の苦労を知って、かかっていることを知って、日々の生活のありがたみを感じた。そして、政治とはどんなことか、少しでも知れて、体験できて良かった。

この経験を今後の生活に役立てていきたいと思っている。

コロナ禍でのイベントは

村長 感染予防しながら開催に向けて工夫



鶴居中学校3年 なるかわのりか 鳴川紀香 議員

鳴川 コロナ禍でたくさん止され、村民同士での交流が少なくなってしまうと思います。

解決策はありますか。

村長 世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の発症以来、今年で2年あまりの月日が経過しています。

この間、行動の自粛による感染拡大の防止対策の徹底などによって、人と人との接し方や国民の社会活動、生活環境に大きな変化をもたらしてきました。

鶴居村でも、地域や団体の

活動をはじめ、多くの人々が集う「納涼まつり」や「ふるさと盆踊り・花火大会」「ダンスとまつり」さらに「タンチョウフェスティバル」なども、議員の質問にあるとおり中止するなど、近年は村民同士の交流やふれあいの場が少なくなっている状況にあると考えます。

こうしたイベントや地域間交流、観光などの取り組みは、「人が動くこと」を前提とするものであり、現状のコロナ

禍では、以前のような人の動きを活発化させ人を集う場面づくりは、感染防止の観点から、今後も一定程度の節度ある行動や対応が必要と感じています。

しかし、鳴川議員が心配されるように、今後の感染症対策と両立する地域経済活動の回復や人と人とのふれあいを大切にする場面づくりは重要なことであり、具体的な取り組みが求められていると考えます。



演壇で質問する4番鳴川紀香君

鳴川 今の答弁から、感染の回復の両立がとても難しいことを改めて実感しました。

ですが、今まで行っていたイベントがなくなってしまふことで、地域の皆さんの触れ合いの場がなくなってしまうことも事実ですので、前向きに検討してくれるととても嬉しいです。

村としては、鳴川議員の思いもしっかりと受け止めながら、村民皆さんの健康を第一に考えた感染予防に努めながら、普段どおりの日常を取り戻していけるよう、イベントの開催や交流機会の確保に向けて工夫を凝らしてその環境を整えていきたいと考えています。

中学生模擬議会の 議長をつとめました



私は今回の中学生模擬議会
で、議長を務めさせていただ
きました。議長席は、議場の
高い位置にあり、さらに大石
村長や村上教育長などのの方
々に囲まれながらの進行でした
ので、とても緊張しました。
議会で使われる言葉は、中学
生の私には難しい言葉が多
く、読むのも少し大変でした。
ですが、中学生議員の質問へ
の大石村長や村上教育長の回
答をじっくりと聞くことがで
き、改めて鶴居村について深
く考えることができました。

中学生議員の質問には、牛
乳廃棄などの酪農の問題につ
いて、村民プールの再建につ
いて、太陽光発電のソーラー
パネルについて、除雪につい
て、コロナ禍で村民同士の交
流が減っていることについて
などが挙げられました。どの
質問も、中学生の視点から、
鶴居村の改善できると思う点
について真剣に考えられてい
ました。

その中で、私が印象に残っ
た質問は2つあります。
1つ目は、「除雪の強化は
できないか」という質問です。
大石村長の回答は、除雪に関
わる業者は、早朝から働き、
作業時間は平均およそ7時間
と重労働だということ、そし
て、一回の除雪で300万円
と莫大な費用がかかるという
ことでした。近年では、除雪
作業に当たる業者が不足し、
大きな課題となっているそう
です。冬に道路が除雪されて
いるのは当たり前、と思っ
てしまっていました。村にも
働く人にも大きな負担がか
かっていたことが分かりまし
た。除雪をしてくださる方々
には、本当に頭が下がる思い
です。

2つ目は、「太陽光発電の
ソーラーパネルによる森林破
壊への解決策はあるか」とい
う質問です。回答は、日本で
最も美しい村、鶴居村の景観
を守り、無秩序に乱立しない
ように条例を制定したという
ことでした。さらに、鶴居村
は今年3月、二酸化炭素の排
出を2050年までに実質ゼ
ロを目指す「ゼロカーボンシ
ティ」への参加を宣言したそ
うです。鶴居村では、再生可
能エネルギーの推進と鶴居村
の豊かな自然環境との共生を
目指す取り組みが進められて
いることを知りました。

近年、若い世代の政治への
関心が低くなっています。そ
の中で、私たちがこのような
体験をできたことはとても良
い経験であったと思います。
今回の模擬議会はテレビや新
聞でも取り上げられ、たくさ
んの人の目に入ったのではな
いでしょうか。このような場
を中学生に与えてくださった
ことに感謝するとともに、模
擬議会を体験した私たちだけ
でなく、それを見た人たちの
地域、そして日本の政治へと
視点を広げていくきっかけに
なることを願います。

住民の声



- 発行責任者
議長 松井広道
広報広聴常任委員会
委員長 松井洋和
副委員長 松井俊治
委員 吉田保博
委員 佐藤吉人